

苗や畑の生育情報や作業管理の実績と、天候から収穫日や収量を予測するシステムなどを、クラウド上の経営管理システム「アグリノート」に連結して、AIが日々の最適な作業を提案するシステムを構築し、スマート農業機械等を導入した一貫管理体系とあわせて、農業経営管理の省力化を実証する取り組みです。

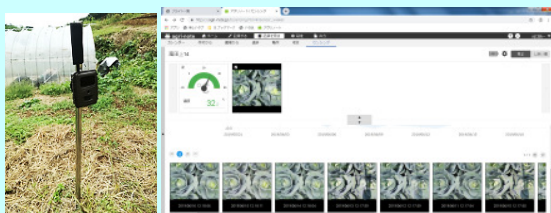
IOT技術等による作業管理のシステム化



スマホで作業記録



QRコードで苗の在庫状況を管理



遠隔圃場は固定カメラで状況把握



ドローン空撮画像からAIが収穫量を予測

スマート農業機械の導入による省力化と作業精度の向上



自動操舵で直進するオートトラクター
(誰でも真っ直ぐなうね立てが可能)



自走型灌水装置
(定植苗の枯死を回避)



GPS車速連動 施肥中耕機
(中耕除草中に均一な施肥が可能)



全自動収穫機
(収穫作業の機械化)



GPSレーザーレベラー
(圃場傾斜化で排水向上)



「もち麦」ドローン防除
(散布時間の削減)



「もち麦」収量コンバイン
(圃場別収量を自動記録)

【本日の作業指示】

- 本日は、〇〇地区で、
- 〇〇作業が必要です。
- 〇人が（誰と誰か）
- 機械〇〇と
- 資材〇〇を使って
- 目標〇〇時間で作業をしてください。

機械化
自動化
効率化
均一化

マネージャー不要の大規模経営を実現！

作業情報

苗数情報

圃場情報

生育情報



作業指示

実績集計

時間管理

収支分析



経営者がパソコンで進捗管理と評価